

令和7年度 第2回図書館協議会

資料1

令和7年11月10日(月)

柏市立図書館

次 第

- 1 開 会
- 2 部 長 挨 拶
- 3 令 和 7 年 度 柏 市 立 図 書 館 協 議 会 第 2 ・ 3 回 について
- 4 第 1 回 協 議 会 の 振 り 返 り 等
- 5 図 書 館 の 先 進 事 例 について
- 6 協 議 「 将 来 の 柏 市 立 図 書 館 の 役 割 や 必 要 な 機 能 について 」
- 7 閉 会

目 次

1	柏市立図書館協議会委員名簿・・・・・・・・・・	1
2	柏市教育委員会 出席職員名簿・・・・・・・・・・	2
3	令和7年度柏市立図書館協議会第2・3回について・・	3
4	第1回協議会の振り返り等・・・・・・・・・・	5
5	図書館の先進事例について・・・・・・・・・・	6
6	協議「将来の柏市立図書館の役割や必要な機能について」	17

1. 柏市立図書館協議会委員名簿

令和 7 年 7 月 1 日現在

番号	選出区分	氏名	職等	役職
1	学校教育 関係者	いわた くみ 岩田 久美	光ヶ丘小学校長	
2	〃	おがわ ゆうこ 小川 優子	柏市学校図書館コーディネーター	
3	社会教育 関係者	かつかわ ひがし 勝川 東	折紙作家	
4	〃	たかだ りゅうせい 高田 竜成	芝浦工業大学大学院生	
5	〃	たかはし ふみなり 高橋 史成	社会福祉法人柏市社会福祉協議会 地域福祉課長	
6	〃	はしだ なりこ 橋田 慈子	千葉大学助教	
7	〃	はやかわ さきこ 早川 沙希子	教育系出版社編集部	
8	家庭教育の向上 に資する活動を行 う者	はちやま みさと 八山 美里	合同会社 EDGE HAUS 奥手賀ツーリズム チーフディ レクター	
9	学識経験者	ささお ともよ 笹尾 知世	麗澤大学准教授	
10	〃	ささき ひでひこ 佐々木 秀彦	公益財団法人東京都歴史文化財 団 アーツカウンシル東京 企画 部企画課長	
11	その他	えびはら りょうじ 海老原 竜司	公募委員	
12	〃	ほんま あき 本間 明	公募委員	

(敬称略)

任期：令和 7 年 7 月 1 日から令和 9 年 6 月 30 日まで

2. 柏市教育委員会 出席職員名簿

番号	所 属	職 名	氏 名
1	生涯学習部	部 長	宮本 さなえ
2	図書館	館 長	森川 暁生
3	〃	統括リーダー	芦澤 慎二
4	〃	主 査	福馬 真弓子
5	〃	主 査	宮脇 和
6	〃	主 事	五十嵐 理文
7	〃	主 事	三石 瑠奈
8	生涯学習課	課 長	田中 義通
9	中央公民館	館 長	村山 勝利
10	文化課	課 長	吉田 敬

3. 令和7年度柏市立図書館協議会第2・3回について

1 柏の葉・沼南近隣センターに関する経過（9月以降）

- ・9月5日 市議会第2回定例会の開会日にて、「柏の葉近隣センターの建設候補地に目処が立ち、令和11年度の開設を目指す。については設計のための補正予算を上程する」旨を報告。
- ・9月8日 図書館協議会委員の皆様へ、上記内容をご連絡。
- ・9月27日 柏の葉地域住民を中心とする検討会が開始。
- ・10月4日 沼南地域の住民を中心とする、閉鎖した沼南近隣センター建物に代わる新たな近隣センター建設の検討会が開始。

以降、両近隣センターに関する検討会を順次実施予定し、
来年1月に柏の葉近隣センターの設計業務に着手予定。

2 今後の協議会

・テーマ

旧) まちづくりにおける図書館が果たす役割

新) まちづくりにおける図書館が果たす役割と機能

・日程

旧) 第2回＝11～12月 第3回＝来年2月

新) 第2回＝11月10日 第3回＝12月26日

・内容

第2回

○将来の図書館の役割や機能に関する意見交換（グループワーク）

第3回（想定）

○第2回協議会意見を踏まえて作成する、「（仮）将来の図書館の役割や機能に関する方針案」の確認、質問、意見等

○令和7年度図書館事業の報告（中間報告）

(補足) 柏の葉・沼南近隣センターについて

1 これまでの経過

2 基本情報

【柏の葉近隣センター】

- ・設置候補用地：柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業区域 144 街区内
- ・土地面積：約 2,950 m²

【沼南近隣センター】

- ・設置候補用地：柏市大島田 25
(沼南庁舎バス乗継場)
- ・土地面積：約 3,600 m²



3 今後の想定スケジュール

	年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12			
		10～3月	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月
柏の葉	意見聴取	検討会・ワークショップ						施設 オープン		
	設計	契約 事務	設計（基本・実施）							
	工事			契約 事務	建築工事					
沼南	意見聴取	検討会・ワークショップ								施設 オープン
	設計		契約 事務	設計（基本・実施）						
	工事					契約 事務	建築工事			

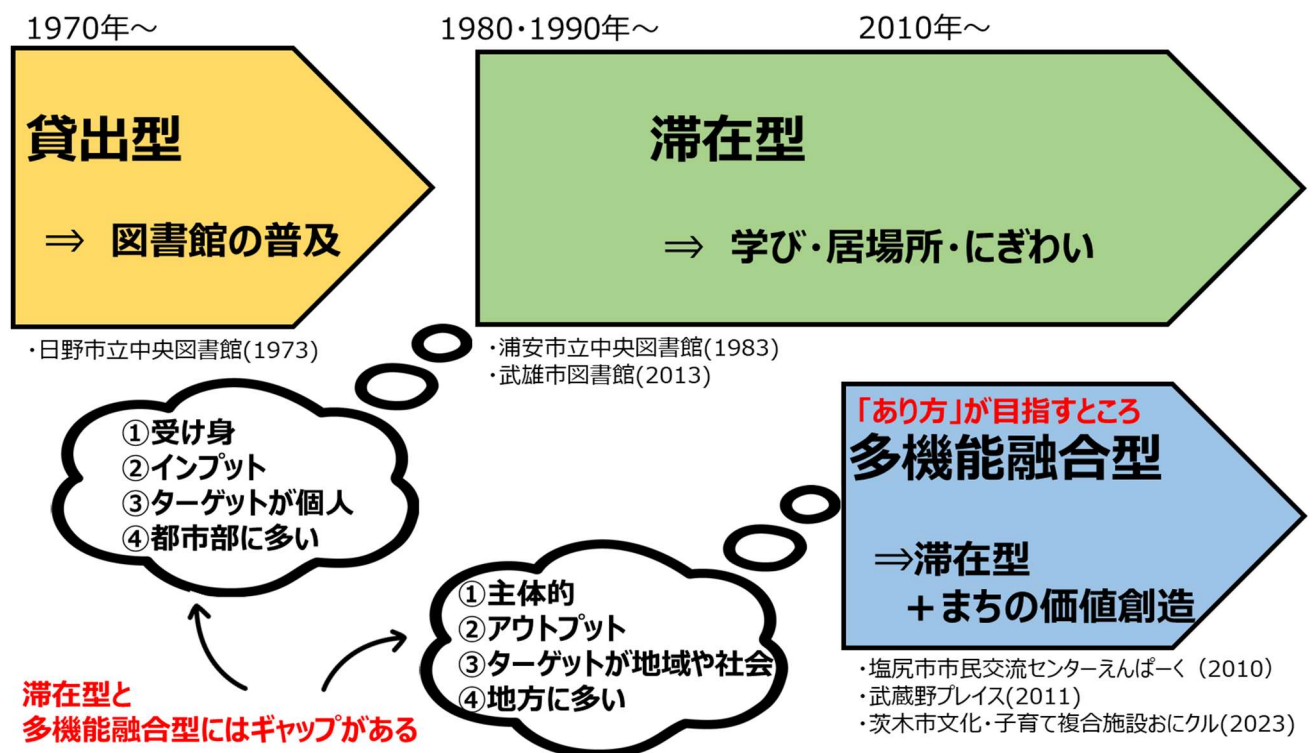
4. 第1回協議会の振り返り等

- 1 第1回協議会資料「図書館を取り巻く状況と図書館の現状」の振り返り（資料2）
- 2 分館別利用状況（追加データ，資料2 P.7～10）

5. 図書館の先進事例について

1 まちづくりにおける図書館の役割と機能の変遷について

- ・貸出型図書館（1970 年代～）
- ・滞在型図書館（1980 年代～）
- ・多機能融合型図書館（2010 年代～）



2 多機能融合型の先進事例

■真岡市複合交流拠点施設 monaca（真岡市立図書館）



(1) 真岡市の基本情報

	真岡市	柏市(参考)
人口	8万人	43.8万人
面積	167km ²	115km ²
可住地面積	153km ²	103km ²
図書館数	本館・1分館	本館・17分館

(2) 図書館の役割

- ・基本方針（真岡市の図書館（図書館要覧））

『みんなが集う，知域創造型図書館（知＝知識，域＝地域）』

⇒人と情報，人と知識，人と人の出会いが交差する文化の核として，「静」と「動」が調和した開かれた図書館を目指す

(3) 真岡市立図書館の状況

- ・真岡市立図書館（monaca）（指定管理者）

⇒ (5) monacaの特徴に後述

- ・真岡市立二宮図書館（指定管理者）

⇒二宮コミュニティセンター内に設置されており，地域住民が日常的に利用できる身近な図書館



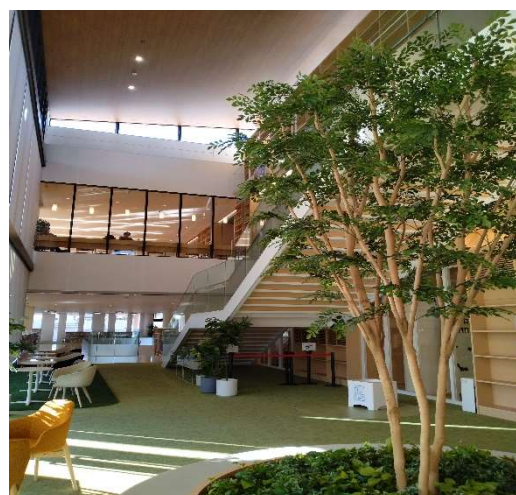
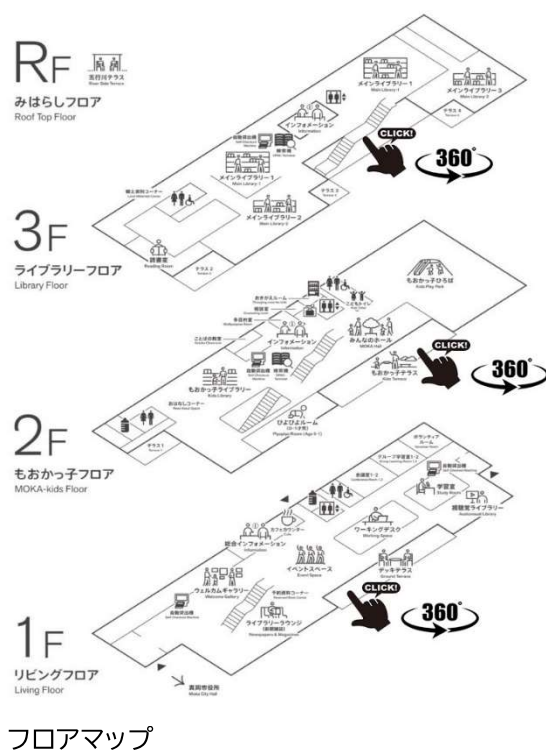
ライブラリーフロア(3F)

(4) 施設概要

		備考
延床面積	約3,600㎡	施設全体は約7,200㎡
蔵書数	20万冊	うち16万冊開架
座席数	340席	図書館部分
来館者数	約36万人	令和7年度末までの見込み

(5) monacaの特徴

- ・「遊ぶ」子育て支援機能, 「学ぶ」図書館機能, 人と人を結ぶ「にぎわう」地域交流機能からなる複合施設
- ・市民にとって自宅や職場, 学校とは異なる新たな居場所（サードプレイス）
- ・市民協働組織を設立しての市民協働の運営
- ・中心市街地のにぎわい創出と活性化の拠点



吹き抜け空間(みんなのホール, 2F)



アロマと音楽の空間(メインライブラリー, 3F)



ももっ子ライブラリー(2F)

■武蔵野プレイス

(1) 武蔵野市の基本情報

	武蔵野市	柏市(参考)
人口	14.8万人	43.8万人
面積	11km ²	115km ²
可住地面積	11km ²	103km ²
図書館数	本館・2分館	本館・17分館



(2) 図書館の役割

- ・ 基本理念（第2期図書館基本計画）

ひととまちを「知」で支える

⇒すべての市民にとっての知の面でのセーフティネットを目指す

(3) 武蔵野市立図書館の状況

- ・ 中央図書館（市直営）

⇒本館として全体の7割の蔵書を持ち、参考資料や郷土資料、視聴覚資料なども多数所蔵する

⇒市立図書館の中核として各地域館のバックアップを行う

⇒市立図書館全体の総合的な企画・運営、学校連携や障害者サービスなど各種事業を担う

- ・ 吉祥寺図書館（指定管理者）

⇒吉祥寺駅や周辺商業集積に集まる人々に向けて、吉祥寺の地域密着情報の提供や発信を行う（吉祥寺の駅前情報拠点）

- ・ 武蔵野プレイス（指定管理者）

⇒（5）武蔵野プレイスの特徴に後述

(4) 施設概要

		備考
延床面積	約4,000㎡	図書館部分。施設全体は9,810㎡
蔵書数	18万冊	すべて開架
座席数	約400席	図書館部分
来館者数	158万人	令和5年度

(5) 武蔵野プレイスの特徴

- ・多世代の交流情報拠点
- ・図書館機能に加えて，生涯学習支援，市民活動支援，青少年活動支援といった機能を有する融合施設
- ・新たな「若者の居場所」
- ・武蔵境の新たな賑わい拠点



フロアマップ



こどもライブラリー(2F)



スタジオラウンジ(B2F)

■茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（おにクルぶっくぱーく）

(1) 茨木市の基本情報

	茨木市	柏市(参考)
人口	28.6万人	43.8万人
面積	76km ²	115km ²
可住地面積	49km ²	103km ²
図書館数	本館・4分館 ・移動図書館 ・8分室	本館・17分館



(2) 図書館の役割

- ・めざすべき姿

（第6次茨木市総合計画）

地域社会における身近な情報拠点

⇒誰もが自由に知識を得ることができるよう、図書館機能の充実を進める

(3) 茨木市立図書館の状況

- ・中央図書館
- ・おにクルぶっくぱーく（分館）
- ・3分館（1分館1,000m²規模）
- ・移動図書館1台
- ・8分室（1分室75～95m²程度）

*すべて市直営



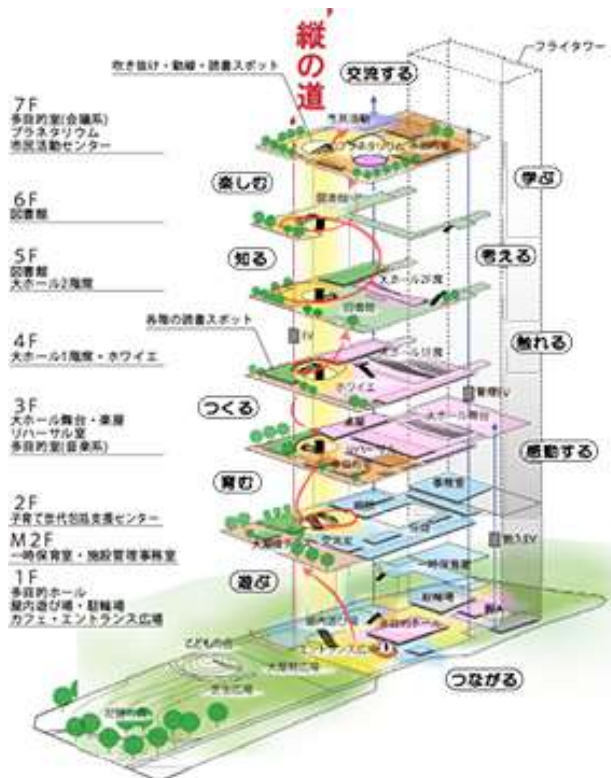
おにクルぶっくぱーく(5F)

(4) 施設概要

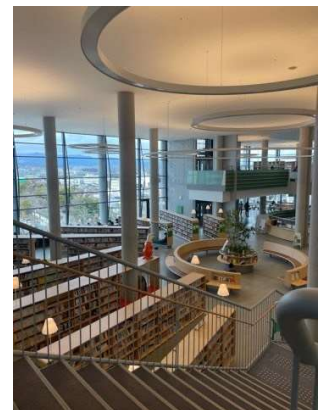
		備考
延床面積	2,371m ²	施設全体は19,715m ²
蔵書数	10万冊	すべて開架
座席数	449席	図書館部分
来館者数	約200万人	開館(令和5年11月)から1年間

(5) おにクルの特徴

- ・図書館や子育て支援，市民活動センター，ホール，プラネタリウムなど多機能が入る融合施設 ⇒「共創の中心地」
- ・図書館のエリアだけでなく，他のフロアにも“テーマに沿った本”を配架し，どのエリアでも読書できるような設計
- ・市民参画・共創を重視する運営姿勢 ⇒「育てる広場」



7階建ての各フロアが吹き抜けの「縦の道」



おにクルばっくぱーく(5F)



「大きな壁面本棚にテーブルが組み込まれていて，こもって本を読む」アイデアは，市民からのもの

3 北欧図書館の役割・機能について

(1) 北欧における図書館のとらえかた

■ ノルウェー公共図書館法（2014 年施行）

（第 1 条）

- ①公共図書館は、図書やその他のメディアをすべての住民に無料で提供することによって、知識、教育、その他の文化活動を積極的に推進する。
- ②公共図書館は公共性を持つ会話と議論のための独立した出会いの場／活動の場である。

②という表現が新たに加わる。

①文化保証機関としての公共図書館

- ・ 情報・メディアと文化・知識へのアクセスの保障
- ・ 生涯学習の支援

②超訳すると…

「ここは図書館だよ。なんでおしゃべりしないの？」

（吉田右子・筑波大学図書館情報メディア系教授）

■ 4つの空間があるのが公共図書館

「文化仲介者としての司書」を通じた…

- ①文化的刺激
- ②創作活動
- ③学びの場
- ④出会いと社会参加

21世紀北欧公共図書館の空間モデル

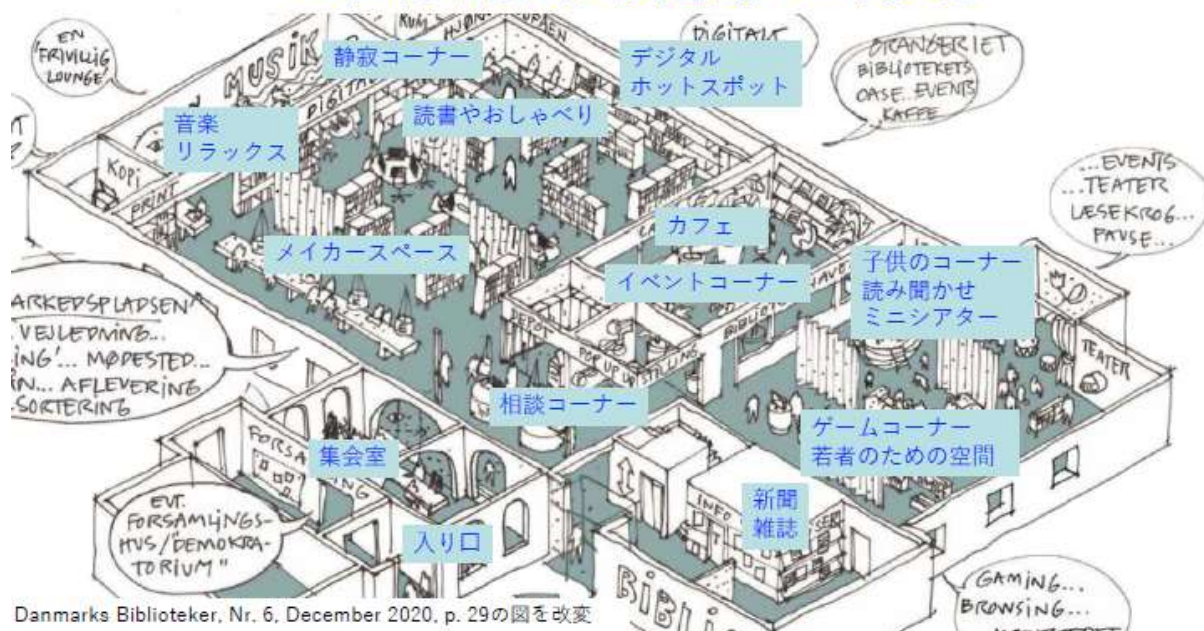


文化省審議、文化庁「図書館のスペースとゾーニング」を改定

Slots- og Kulturstyrelsen, Bibliotekets rum og zoner: Hvad skal de rumme? Hvor kan de placeres?

(<https://web.archive.org/web/20160711143348/https://modelprogrammer.slks.dk/udfordringer/rum-og-zoner/>)

21世紀北欧公共図書館の空間実態



Danmarks Biblioteker, Nr. 6, December 2020, p. 29の図を改変

(上図・下図ともに吉田右子・筑波大学図書館情報メディア系教授による改変図)

(2) 北欧図書館の事例

■DOKK1（オーフス市中央図書館）



①概要

	DOKK1
オーフス市人口	36万人
市の特徴	デンマーク第2の都市
アクセス	オーフス中央駅から徒歩10分
開館年	2015年
延床面積(全体)	17,500㎡(60,000㎡)
蔵書数	30万冊(点)
来館者数	210万人

②特徴

- ・施設内に多機能を配置した融合施設
 - 1階：LRT 停留所，駐車場（地下にも駐車場）
 - 2階：図書館，行政窓口，ホール，会議室，遊び場，カフェ
 - 3階：キッズスペース，メイカースペース，ゲームストリート，事務室
 - 4階：職員向け食堂，貸しオフィス
 - 屋上：洪水の際の避難所
- ・図書館のスマート化，機械化
- ・2階～4階吹き抜けのイベントスペース「ランプ」が施設の中心
- ・地下に1,000台収容の完全自動化の駐車場（30,000㎡）
- ・建築費（375億円）の1.5%をアートデザインに
- ・市内病院で赤ちゃんが生まれたら鐘を鳴らす仕掛けも

■ O o d i （ヘルシンキ中央図書館）



①概要

	Oodi
ヘルシンキ市人口	69万人
市の特徴	フィンランド最大都市
アクセス	ヘルシンキ中央駅から徒歩5分
開館年	2018年
延床面積(全体)	3,300㎡(10,000㎡)
蔵書数	6万冊(点)
来館者数	300万人

②特徴

- ・施設コンセプトは「市民の交流のためのリビングルーム」
- ・各階ごとに各機能を配置した複合施設
 - 1階（会うための場）：多目的ホール，映画館，レストラン，カフェ
 - 2階（作るための場）：学習室，会議室，スタジオ，調理室，メイカースペース，ゲームルーム
 - 3階（読むための場）：図書館，カフェ，バルコニー
- ・ロボットが配架，案内も
- ・木材をふんだんに使用。壁はほとんどなく，仕切りも透明ガラスで構成

*参考 これからの（日本の）図書館に求められるもの

これまで		これから
知的緊張感	⇒	文化的刺激
自己との会話(静寂空間)		他者との会話(会話空間)
答えを得る		問いを得る

（吉田右子・筑波大学図書館情報メディア系教授）

6. 協議（グループワーク）

1 議題について

「将来の柏市立図書館の役割や必要な機能について」

2 グループワークにあたって

議題について、これまでお示しした、

- ・「柏市図書館のあり方」
- ・「柏市公共施設等総合管理計画（第2期計画）」
- ・「図書館を取り巻く状況と図書館の現状」
令和7年度第1回時に配布した資料 → 振り返り資料（資料2）
- ・令和6年度の柏市立図書館協議会委員の意見（資料3）
- ・本日の協議会報告

などを踏まえた上で、将来（およそ30年後）、柏市にとってふさわしい図書館の役割や必要な機能について、どのようなことが必要だと考えますか。本館・分館・その他に分けて、ご意見やご議論をお願いします。

【グループワークの方法】

- ①2班（A班，B班）に分かれていただきます
 - ②個人で意見を考えていただきます（5分）
 - ③グループで意見交換していただきます（40分）
 - ④発表していただきます（各班3分，計6分）
- *班ごとの発表者を決めてください